

CVR100W VPNルータのインターネットプロトコル設定

目的

インターネットプロトコル(IP)は、ネットワーク経由のトラフィックの配信を担当します。CVR100Wは、IPv4とIPv6 IPモードの両方を使用します。これらのプロトコルでは、「ハンドシェイク」セキュリティ手順を通じて接続を確認するために2つのエンドポイントを必要としないため、迅速で効率的です。また、ベストエフォートの配信方式を使用してパケットを転送します。この記事では、CVR100W VPNルータでIPモードを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

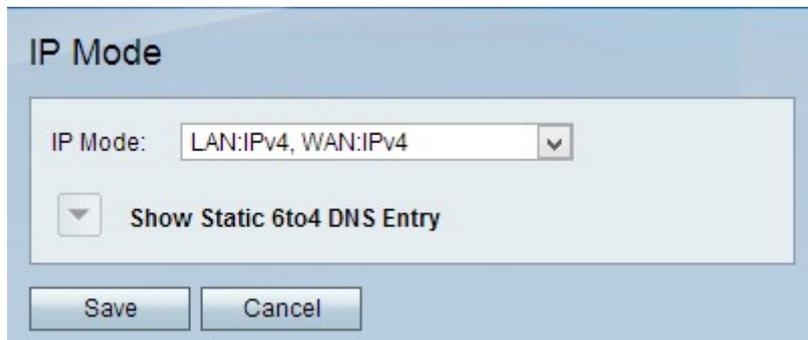
- ・ CVR100W

[Software Version]

- ・1.0.1.19

IPモード

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [IP Mode]を選択します。
[IP Mode]ページが開きます。



ステップ2:[IP Mode]ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。

注：IPv4は、インターネットに接続された各デバイスにアドレスを提供する、古い、最も一般的なプロトコルバージョンです。ただし、これらのアドレスは最終的に枯渇するため、IPv6はIPv4を成功させるために作成され、最終的にインターネットプロトコルと一緒にアップグレードします。これら2つのプロトコルは非常に類似しており、次のIPモードの仕様で使用できます。

- ・ LAN:IPv4, WAN:IPv4 — LANポートとWANポートの両方がIPv4を使用します。
- ・ LAN:IPv6, WAN:IPv4 — LANポートはIPv6を使用し、WANポートはIPv4を使用します。
- ・ LAN:IPv6, WAN:IPv6 — LANポートとWANポートの両方がIPv6を使用します。

- ・ LAN:IPv4+IPv6, WAN:IPv4 — LANポートはIPv4とIPv6の両方を使用し、WANポートはIPv4を使用します。両方のIPモードは同時に動作しますが、パケットトラフィックは1つのみ使用です。
- ・ LAN:IPv4+IPv6, WAN:IPv4+IPv6 — LANポートとWANポートの両方がIPv4とIPv6を使用します。一方のポートの両方のIPモードが同時に動作しますが、パケットトラフィックは1つのみ使用です。

ステップ3: (オプション) すべてのモードで、[LAN:IPv4]、[WAN:IPv4]、[IPv4]、[Show Static 6to4 DNS Entry]ドロップダウン矢印が使用可能になります。6to4は、ユーザがIPv4 WANネットワーク上でIPv6 LANからIPv6パケットを送信できるようにするトンネリング機能です。[Show Static 6to4 DNS Entry]ドロップダウン矢印をクリックします。[Static 6to4 DNS Entry]フィールドが表示されます。

ステップ4:[Domain (ドメイン)]フィールドと[IP(IP)]フィールドに、最大5つのドメインからIPへのマッピングを入力します。6to4マッピングは、ドメイン名がIPv6アドレスにマッピングされる場合です。

ステップ5:[Save]をクリックします。

ステップ6:[情報]ウィンドウが表示されます。



手順7 : [OK] をクリックします。

注意：IPモードを変更するために、デバイスに新しいデフォルトIPアドレスが割り当てられます。